



MUTSUMI GROUP

医療法人 むつみホスピタル広報誌

2022.10号

永年勤続者インタビュー
スタッフの1日



目次

1：永年勤続者インタビュー

- ・ 小谷 雄二 (名誉院長) . . . 1
- ・ 板東 幸夫 (看護師) . . . 2
- ・ 大浦 美奈子 (薬剤師) . . . 3

2：スタッフの1日

- ・ うずしお病棟 安宅 三和子 . . . 4
- ・ 栄養管理室 瀬戸 好子 . . . 7
- 松田 茂子 . . . 9
- 大和 陽菜 . . . 10
- 森本 久美子 . . . 11
- ・ 地域連携・相談室 岡 秀樹 . . . 13
- ・ 総務部 竹内 麻夏 . . . 15
- ・ リハビリ室 長谷川 優里 . . . 16
- ・ やまもも病棟 福原 澄子 . . . 18
- ・ 外来 麻中 香織 . . . 19
- ・ 心理室 竹岡 里紗 . . . 21
- ・ 訪問看護ステーション 小川 楓 . . . 22
- ・ すだち病棟 黒川 みき . . . 23
- ・ しらさぎ病棟 明石 和之 . . . 24

永年勤続者インタビュー

皆さん こんにちは。

昨年度に院内掲示板などで掲載させて頂いたスタッフインタビュー記事をこの度、冊子に致しました。永年勤続者からの貴重なご意見・アドバイスや、他職種の方々がどういった業務を行っているかなど、非常に参考になる内容となっております。

同じ職場で働く仲間のことを知るコミュニケーションツールとなり、皆さんが更に前向きに業務に取り組める一助となれば幸いです。

是非、ご一読のほどよろしくお願い致します。

広報委員会一同

小谷雄二（名誉院長） 勤続年数55年



①長年勤めて、大切にしていたことはありますか？

昭和41年に当院へ就職し、今年で55年になります。私は内科医だったので、最初は精神科病院がどのようなところか、右も左も分かりませんでした。長きに渡る勤務の中で日課にしていたことは本をたくさん読み幅広い教養を身に付けることです。それにより患者さんとの信頼関係が築きやすいと実感しました。病気の原因が”紐解ける”第一歩であると考えています。

②特に印象に残っている出来事は何ですか？

当時の建物は木造、鉄筋コンクリートに変わっていったこと。それに伴い入院患者さんも増えていき精神鑑定にたくさん出向いた事です。西は”東祖谷”、南は”牟岐”まで、200人以上の鑑定をしました。昭和58年に徳島県精神科病院協会の副会長に就任し、平成7年6月には徳島県精神科病院協会の会長に就任しました。

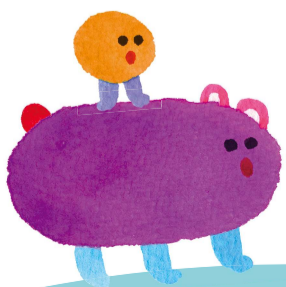
平成15年4月の瑞宝小綬章受賞が印象に残っています。

③入職当初と今の病院について思う事はありますか？

木造から鉄筋コンクリートへ立て直し、理事長も秀之先生になりました。時代の変遷を感じています。環境の変化に慣れるのに時間がかかりましたが、以前よりスタッフとの交流が増えたと実感しています。

④後輩達へ一言

日々1日1日を大切にしてください。



板東幸夫（看護師） 勤続年数47年

①長年勤めて、大切にしていたことはありますか？

看護師間でのチームワーク、患者さんの話をベッドサイドまで足を運び耳を傾けることを大切にしてきました。自分だけでなく、スタッフステーションにいる看護師や実習生にも、ベッドサイドへ出向くように伝えてきました。

②特に印象に残っている出来事は何ですか？

1つ目は、地元役場から依頼があって医療保護入院の患者さんを男性看護師が自宅へ迎えに行ったこと。ある病院で事故があって（現在は自宅に迎えに行く制度はなくなっている）今思ったら印象に残る業務の一環でした。

2つ目は、精神科機能評価に立ち会ったことです。何も関わりや経験がない為、勉強の為に県外の病院へ見学に行ったことが数回ありました。また、講師を招き毎月勉強会を行ったり、他のスタッフが京都にある宇治おうばく病院へ勉強に行ったことが印象に残っています。

③入職当初と今の病院について思う事がありますか？

昭和50年に入職し、その当時あった病棟は公園になったりして、当時の病棟は改装されました。病院の名前も「むつみ」に変わっているが、自分の中ではむつみホスピタルに切り替えることができず、「城西病院」という名前が忘れられません。



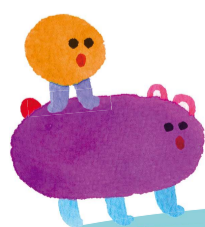
④後輩達へ一言

1つ目は、ON・OFFの時間をしっかりすることが長年勤める秘訣だと思っています。仕事のことを引き摺ってしまわないことが大切です。

2つ目は、看護師の資格を取って働いているが、それに満足せずに新たな専門的な資格（認定看護師や専門看護師資格等）の習得を目指して頑張してほしい。

④おまけ（好きな給食メニュー）

煮物です。（本当はカレー ※カレーが好きと言ったら患者さんと一緒になるから）
給食も昔は1食68円の時代だった。それから100、200と値上がりしましたね。





大浦美奈子（薬剤師） 勤続年数40年

①長年勤めて、大切にしていたことはありますか？

入職当初は、調剤が薬剤師の主な業務でしたので、正確であることを重視していました。患者さんと接する機会が増えてからは、患者さんの話を傾聴すること、適切な対応ができることを心掛け、信頼される人となるように現在も努めています。

②特に印象に残っている出来事は何ですか？

印象深い出来事は、同僚の退職、休職で、常勤薬剤師が一人へと減少した時のことです。医師、パート薬剤師、多職種の方々に助けをいただきながら、毎日の業務を遂行しました。時間外業務が続く日々でしたが、薬剤師としての責任感と皆さんの支えで頑張る事ができました。また、全自動錠剤包機導入時のこと、初めての日本病院機能評価機構の評価を初めて受けた時のことも、大変だった出来事として同様に思い出します。嬉しかった出来事は、2010年に精神科薬物療法認定薬剤師の資格を取得できたことです。業務外でしたが、個人的に研修会にも参加・受講を行い、徳島県で二人目の精神科薬物療法認定薬剤師になることができました。ただ、残念に思う事は薬剤師室での作業が多く、患者さんとのエピソードをあげることができない事です。

③入職当初と今の病院について思う事がありますか？



入職当初は、職員数100人ぐらいで、皆さんが身近な存在であったように思います。その中で、城西病院（当時）の薬剤師として育てて頂きました。今は、病院の組織体制が確立し、研修制度が充実しました。職員間の壁も少なくなり、薬剤師もチーム医療の一員として、回診に参加し、病棟業務を開始しようとしています。服薬においても、コンプライアンスからアドヒアランスへ、そしてコンコードランスへ変化しているように感じます。

④後輩達へ一言

入職当初は、業務に追われて有給休暇をとることもできませんでした。今は、研修制度・休暇制度等、働く環境が充実しています。業務でお忙しいとは思いますが、自分自身の為に、患者さんの為に、専門分野の資格取得など、自己研鑽に努め業務に活かして頂きたいと思います。これからも、皆さんと一緒に、むつみの道を歩んで行きたいと思います。

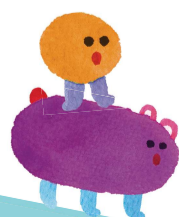




うずしお病棟 看護師のある1日（日勤編）

記事作成：安宅三和子

- 5:20 朝起きて今日は日勤かぁ・・・
- 7:50 出勤すると病棟の患者が笑顔で挨拶をしてくれる。お風呂の日出勤して、申し送りノートをやカルテを見るなどして情報収集。
- 8:00 申し送りを聞き医師とともにラウンドに廻りラウンドが終了すると配薬、薬出しを行う。9時30分から介助風呂が行われるため、患者に声掛けなどを行う。
- 9:30 介助風呂開始・・・患者を誘導。拒否的な患者もなるべく入浴するように説明したり、説得したりして浴室に誘導する。入浴したくないため、「先生に止められているから」などと言う患者も説得してお風呂に入ってもらおうがそんな患者はとっても不機嫌。動けるけど動かない患者も自立を促しながら介助する。入浴介助が終わったら汗びっちょりでこちらもお風呂に入りたい気持ちになりながら水分補給。入浴中に病棟内では、OTレクが行われており自室にこもりがちな患者に声を掛け参加を促しつつカルテ入力などを行う。
- 11:00 OT活動が終わると、お茶を出して水分補給をしてもらう。ここでもトラブルが多く、目を離すと何杯も飲もうとする患者やジュースでないと飲まないと言う患者にも水分補給を促す。そうこうするうちに昼食の時間。やはり自室から出て来ない患者の部屋に行き声を掛ける。
- 11:40 昼食時は目が離せない・・・。猛スピードでかきこもうとする患者や、隙あらば他患者の物をかすめとって素早く食べてしまう患者・・・誤嚥や窒息のリスクが高く看護師は注意深くあちこちに目配り、気配りを行う。そして私たちも腹ペコ・・・。
- 12:15 昼食、昼食後の配薬が終わるとスタッフも食事・・・（ほっ）
- 13:15 食後は転倒予防の体操を患者と共にいき病棟内のウォーキング。終わると昼からのOT活動開始。
- 15:00 終了後、カルテ入力などを行っている準夜勤務者が出勤しリーダーの申し送り。
- 16:30 業務終了。
（きょうも一日終わり・・・また、明日ね。）





うずしお病棟 看護師のある1日（準夜編）

記事作成：安宅三和子

15:30 平和な準夜を祈りつつ出勤する。

16:00 病棟に入ると、患者さんが嬉しそうに近付いて来る。
夕食までは日勤と同じ・・・。



18:30 夕食後は私たちの日常生活にも似て一番落ち着く時間。
みんなテレビを観たり自室で本を読んだり・・・。くつろぎ時間でいい感じです。
食事も終わって後は寝るだけ・・・みたいな感じです。
スタッフの夕食が終わりしばらくしたら就寝前薬を配ります。
患者さんにとって就薬を服用することも仕事なのか、それが終わると一日の終わりと感じている様子です。
早く落ち着きたいのか、就寝前薬を少し早めに欲しがる患者さんも居られます。
就寝前薬を飲む前に寝ている患者さんもいます。それぞれです。

21:00 21時に消灯ですが、それでも眠れない患者さんはそれぞれの主治医が出した指示で追加の睡眠剤を22時以降に服用することが出来ます。眠れない事はとってもしんどいことです。
患者さんの中には「全く眠っていない」と言う患者さんがいます。でも巡視の時にはよく眠られているのですが。熟眠感がないのでしょうか。
夜中に目が覚めた瞬間と思われる様な眠たそうな声で追加の睡眠剤を欲しいと訴える患者さんもいます。そんな時には「あと10分して眠れなかったらね」と伝えます。10分後、部屋の前まで行くと大きな寝息が聞こえてきます。夜中に目が覚めたら薬を飲まなければと思っている様子です。

23:00 夜中にねぼけまなこで病棟のソファや椅子、ベッドなどを動かす患者もいます。一度、他患者さんを載せたベッドを詰所まで押して歩いてきたこともあります。大部屋の洗面所の水道を開けて部屋を水浸しにした患者さんもいます。
そんな夜行性の患者さんも自室に誘導して眠るように促します。
夜勤は平和な時とそうでない時の差が大きいです。
でも、私は夜の患者さんを見るのも好きです。夜は患者さんの違う面を見ることが出来ます。普段は見えない心が見えたりもします。
サザエさんの曲で不穏になる人もいます。でも、ちょっとした声かけで穏やかになることもあるのでとてもやりがいがあります。

0:30 時間が来たら患者さんが眠る病院をあとにします。
私も帰って眠ります。おやすみなさい。



うずしお病棟 看護師のある1日（深夜編）

記事作成：安宅三和子
松本好恵

0:00 深夜0時前、病棟のドアをそっと開ける。

患者さんが寝静まった病棟で深夜業務の始まり。



0:15 準夜勤務者から申し送りを受けます。

2:00 2時と5時におむつ交換の必要な患者さんを訪室。小さな声で声かけしながらおむつ内を確認する。夜中にやって来た看護師を見て、眠そうに笑ったり、すこしビクツとしたり、隣のベッドの患者さんまで目を覚まし今日あったことなど話したり、患者さんたちと小さな声でコソコソと話したり笑ったりしながら楽しくおむつ交換しています。おむつ交換の後は静かにゆっくりと時間が流れます。

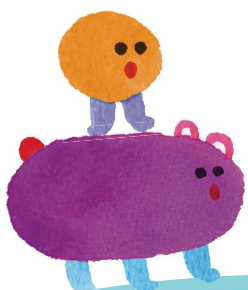
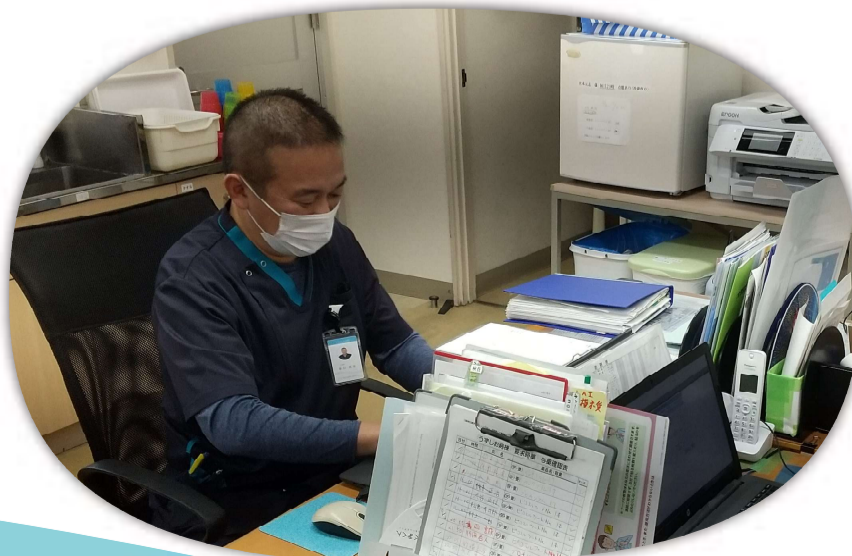
5:00 5時近くなるとホールに出て来る患者さんも多く、検温している患者さんや窓際のソファにすわってぼんやりしている患者さん。そのうちスズメの鳴き声で朝の始まりを感じる時間です。

6:00 朝のお茶を用意して、6時に起床。ホールでお茶の時間。表情を見れば巡視のときの寝顔は本物だったのかわかります。その後、指示があれば検査の為の採血などを行います。

7:00 早出勤務者が出勤しラジオ体操。まだ部屋にいる患者さんにはもうすぐ朝食時間であることを伝える。布団を頭まですっぽり被って眠っている患者さん、起きて顔だけ出してニコニコとこちらを見返す患者さん、起きて窓の外をじっと見つめている患者さんなどさまざま。一日の始まりです。

7:30 配膳車が病棟に到着。朝の患者さんはお腹ペコペコであっという間に朝食が終わりますが、誤嚥やムセのリスクには常に気を配ります。

8:00 申し送り開始し、その後ラウンドが終わると深夜業務は終了です。そして8時45分、深夜業務終了。病棟から出るときは患者さんが手を振ってくれたり声をかけてくれたりします。手を振りながら外に出ると、眠たい眼には朝の光が眩しく感じます。



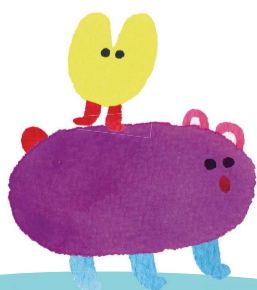


栄養管理室 管理栄養士のある1日

記事作成：瀬戸好子

- 7:30 笑顔で挨拶しながら出勤し、2階で検温、衛生チェック表を記入。
変更はないかなと、前日の申し送りに目を通す。
暑いけど気合いを入れて、消毒や掃除に取り掛かる。感染症を絶対に出さないようドアノブや冷蔵庫やパソコン、職員食堂などを丁寧に消毒する。職員食堂も気持ちよく使ってもらえるように階段や食器洗い場などは雑巾がけをしている。いつも汗だくだが、気持ちはとっても爽やか。
- 8:00 申し送りに間に合うよう担当病棟に急ぎ足で移動。申し送りと、その後のラウンドに同行。心配になるほど食事摂取量が少ない人などにはベッドサイドで声をかける。必要であれば食事の形態を変更するなど、看護師さんと情報交換し試してみる。
- 8:45 診療連絡会に参加。栄養管理室では食数の変更を確認し、配膳車や黒板を昼食用の数に書き直す。配膳ミスを防ぐ為、変更分を掲示板に書き込み共有する。
- 9:00 ワクワクしながら、職員食の注文数を確認する。最近多くてひそかに嬉しい。
- 10:00 午前の厨房ミーティングで、変更や伝達事項を伝える。
職員食の食数の最終確認をし、デイケアの食器など準備する。
栄養指導予約の方の到着の電話が入る。外来で栄養指導を行う。前回の採血の結果や体重などを一緒に確認し、今後の目標や計画の立て直しなどを行う。順調にいく人もいればリバウンドする人もいて、それぞれに合ったアドバイスができるよう日頃から勉強も必要。『栄養士さんの話を聞いてよかった。』と言っていただけるときもあり、やりがいを感じる業務の1つ。
献立作成、伝票入力、選択メニューの入力や名札、電話対応、納品チェックなど必要な業務を行う。
- 11:10 患者さんの昼の変更の確認をする。
患者さんの食事の最終確認作業。美味しく安全な食事を食べてもらいたいので、一つの配膳ミスや異物混入もないように1膳1膳、名札や配膳車の記載と間違いがないか確認していく。

～次ページへ続く



栄養管理室 管理栄養士のある1日

記事作成：瀬戸好子

- 12:00 ご当地メニューの日は、反応にドキドキしながら病棟のミールラウンド。『美味しかった』、『日頃食べていない人も全部食べた』など患者さんやスタッフからたくさんの温かい言葉をいただけた。喜んでもらえたことがとても嬉しい。行事食は写真撮影して記録しておく。医局に食事を運ぶ。
- 12:30 12時半から休憩。昼食は検食を兼ねている。自分の立てた献立の色合い、味付け、分量などをチェックする。食材の残り具合なども見て、次回のためにメモをしておく。調理員から『今日のおいしかったですね。』と言われるとうれしい。
- 13:00 午後から、今日はアレルギーの方が入院。聞き取り調査に伺う。アレルギーのみの対応となっている為、配膳ミスのないようにするため禁止食品を具体的に聞き、厨房の禁止食品一覧表に反映させて、午後のミーティングで共有する。
- 13:30 それぞれ担当病棟のカンファレンスに参加。食事摂取量や血液検査、体重測定などから、食事形態変更などの提案をする。その後は電話対応や業者対応しながら、献立や発注、栄養指導資料作成やカンファレンスの記事の入力などを行う。空いた時間で、タオルペーパーや、手袋、調味料、トロミ剤など備品の補充をする。翌日の献立のチェックを行い、初めてのメニューの場合は調理員と打ち合わせを行う。盛り付けや調味の仕方など意見を出し合って決める。
- 16:30 時計を見るともう16時半である。あっという間でしたが、充実した1日が終わる。





栄養管理室 調理員のある1日（早出編）

記事作成：松田茂子

- 4:30 早出の仕事は4時半からです。正社員2人で行います。
- 4:40 朝食は7:30に出すのでその時間に合わせて作り始めます。
前日にメニュー表を確認し、必要な食材の準備をしておきます。初めてのメニューの場合は管理栄養士と打ち合わせを行います。
禁止食品の方は別献立となることがあるので、前日にそれも確認しておきます。
早出1と早出2に分かれていて、担当する仕事がそれぞれ決まっています。
どの担当を誰でもできるように毎日担当は変わっていきます。
まずはお米を洗い、炊飯の準備。次に漬物の盛り付けと配膳。
次は小鉢を作ります。その日によってメニューは違います。炒め物や煮物、和え物など。メニューによって工程は変わってきます。前日にメニューの確認をし、シミュレーションします。
朝は人が少ないのでどうやれば段取りよくできるかを考えて作業を行います。朝は280人分くらい作ります。刻み食やミキサー食など食形態がいろいろあるのでその人に合わせて作り、間違えないように配膳します。
- 7:30 『あー、もうこんな時間！』と思いながらお粥、ごはん、みそ汁を入れ、異物混入等の確認をして配膳車を出します、あっという間に7:30が来たという感じです。
それから朝の片づけをして少しほっとする朝食タイム。
- 8:30 朝食が終わると食器洗浄。夏場は汗だくになりながら洗います。1つ1つ軽く汚れをとって食器洗浄機にかけていきます。洗浄された食器を拾い上げて種類ごとにわけていきます。最近はミスを防ぐため、食形態によって食器を分けているので食器の種類が多くなっています。種類ごとにわける作業も大変です。
- 9:30 食器の洗浄が終われば次は昼食作り。昼食は11:45に出すのでそれに合わせて、大皿、小鉢、お汁の準備に取り掛かります。昼は多い時だと400人分。日によっては揚げ物だったり、焼き物だったりといろいろあります。食数が多いのでフライヤー、スチコンを効率よく使わないと時間に間に合いません。レシピ集を作っているので前回はどのようにしたかなどを確認して時間に間に合うように仕上げていきます。日勤が来たらミーティングを行い、禁止食や伝達事項の説明を受けてから一緒に盛り付けを行い、そうこうするうちに12:00です。食器の片づけや日誌を書き、早出業務は終了です。
- 12:00 慌ただしい1日が終わりました。

～次ページ「日勤編」へ続く





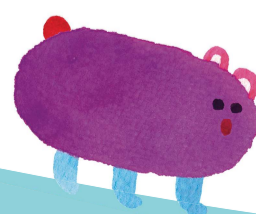
栄養管理室 調理員のある1日（日勤編）

記事作成：大和陽菜

- 9:30 朝起きて『今日は日勤かあ、何の担当なんだろう』と思い出勤します。
出勤し、自分の担当、患者さんの入退院、変更事項を確認し、調理場へ行きます。
早出が慌ただしく昼食の調理をしています。出来上がっている料理を盛り付けしたり、刻みにしたりします。10時がくるとお昼のミーティング。禁止食の確認に、異物混入などを気を付けるよう呼びかけをし、間違いのないように盛り付けを行っていきます。
- 10:45 盛り付けが終わるとおかゆを入れたり、野菜の下処理をしたりとそれぞれ分かれて作業を行います。11時25分前になるとご飯を入れます。できるだけ温かく食べてもらいたいので時間ぎりぎりでご飯を入れています。ご飯は普通盛り、小盛り、特別食用に細かくグラム数が分かれていて計りで1つ1つ計量します。『これは何グラムのご飯です。』と声をかけてミスが起こらないように気を付けています。
配膳がすんだら全員で入れ間違いや異物混入がないか確認を行います。配膳車が出ると少しほっとします。
- 12:00 12時なり配膳車が返ってくると洗い物が始まります。洗い物も終わりに近づいてくると残飯のキ口数を測ります。3食とも計量していて『今日は少ないな。このメニューはおいしかったのかな。』など思いながら処理します。その後シンクなどの掃除を行います。
午前中の業務も終わり、ほっとするのはやっぱり昼食の時間。食べ終わったら夕食の準備をしてから休憩室へ向かいます。時間が来たら『午後の業務もがんばろう！』と気合いを入れて調理場へ向かいます。
- 14:00 午後のミーティングを行い、夕食は各自担当になっていることをし、分担して夕食を作ります。調理場はとても暑いので水分補給しながら盛り付けを行うようにしています。盛り付けの前にはお互いにコロコロをかけあって髪の毛や異物が入らないように気を付けています。
早出の前の日は日勤になっていることが多いので、次の日の朝出勤したらすぐに調理に取り掛かれるように前日に早出の準備をしておきます。調味料を測ったり、材料がそろっているか確認したり。メニューもチェックし、翌日のシュミレーションを行います。早出の前の日は『明日うまくできるかな。』とドキドキします。
- 18:00 18:00配膳、確認を行って配膳車を出したら1日の業務は終了します。
『私が作った料理、患者さんの口に合ったかな～。おいしく食べてもらえたかな～。』と思いながら帰路につきます。



～次ページ「遅出編」に続く



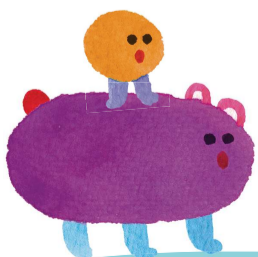


栄養管理室 調理員のある1日（遅出編）

記事作成：森本久美子

- 11:00 11時に身なりを整え、白衣、帽子にコロコロをかけ、異物混入のないように仕事にかかります。遅出は正社員1名です。19:30までの仕事で最終のチェックをします。厨房におりていくと、大皿の盛り付けやお粥の配膳など慌ただしい時間帯なので、状況に応じて対応します。盛り付けが終わってなければ盛り付けをしたり、野菜の下処理がたくさんあればそちらを行います。病棟に配膳車を出してからは主に仕込みをします。仕込み作業は時間がかかります。400人分近く材料となるのでたまねぎだと20kgと大量です。1つ1つ皮をむいて洗い、スライサーに入る大きさに切ったりと工程があります。勤務者が多い場合は分担して流れ作業で行います。調理方法により野菜の切る大きさを変えます。変えることで調理がしやすく、味のしみ込みがよくなるようになります。下処理は大量調理では重要な作業です。みんなで相談しながら下処理していきます。
- 12:30 12時半～13時半まで昼食と休憩です。昼食はほっとできる時間です。今日のメニューの味見ができるので楽しみでもあります。次回自分が作らないといけないかもしれないので味の確認をしておきます。
- 13:30 休憩後は夕食の粥をしかけたり、昼食に使った器具を洗ったり、翌日の野菜などの下処理や練り物などを切ります。
- 14:00 管理栄養士や日勤、パートとミーティングを行い、夕食の禁止食の確認や変更事項、連絡事項を共有します。ミーティングはすごく大事だと思っています。全員で禁止食について共有することでミス防止につながります。アレルギーの方もいるので配膳ミスは患者さんの命にかかわります。慎重に作業し、十分な確認が必要です。
- 14:30 14時半に職員給食の片づけをします。そのあと夕食の食数の計算をします。夕食は280人分くらいです。大皿、小鉢と計算します。ここで計算間違いをしないように気を付けます。間違えてしまうと足りなくなったときに大変だからです。禁止食品ももう一度チェックし、食器に名前をはり、ミスが起こらないようにしておきます。

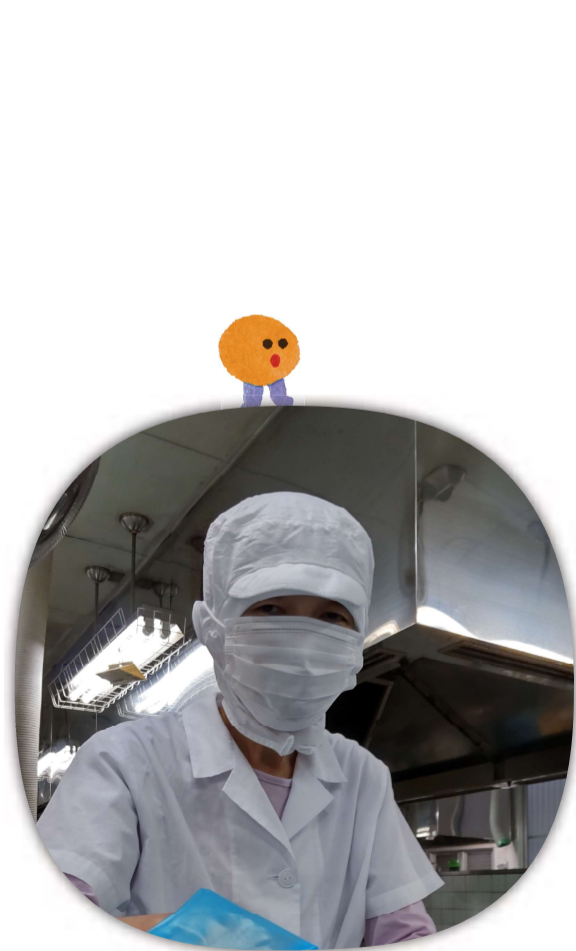
次ページへ続く～



栄養管理室 調理員のある1日（遅出編）

記事作成：森本久美子

- 15:00 乾燥機にかけていた昼食の食器類を片付け、明朝に使う職員さんの食器を出します。夕食の米飯をしかけます。炊き忘れると大変なのでタイマーで炊飯の時間を知らせてくれるように工夫しています。18:00に配膳車を出すのでそれに間に合い、温かく食べていただけるよう時間ギリギリにご飯を盛り付け、配膳します。ごはん、おかずがすべてそろえば全員でチェックを行い、配膳ミスはないか、異物混入はないかを見ます。数を確認し、配膳車を出します。
- 18:00 そのあとは厨房の掃除をし、当日に使った器具類を乾燥機にかけます。
- 検食といい食中毒等が起こった時用にすべての料理を50gずつ袋に入れます。食材も50gずつとっておいて2週間冷凍保存しておきます。2週間前に保存したものを処分します。冷蔵庫4台、冷凍庫3台の温度を記録します。
- 18:15 そうこうしているうちに食器が返ってくるので食器の洗浄を行います。朝食用にトレイが入っているのを確認し、配膳車のシャッターを閉めます。消毒している布巾を干し、害虫駆除対策の殺虫剤をスプレーします。ガスの元栓が閉まっているのか何度も確認し終わります。
- 19:30 慌ただしかった厨房の1日の最後は静かで心が落ち着きます。

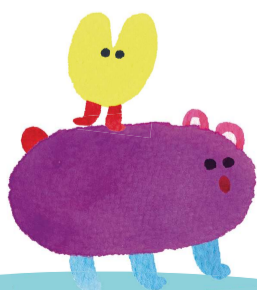


相談室 精神保健福祉士のある1日

記事作成：岡 秀樹

- 5:15 2個セットした目覚まし鳴る…、眠い。2回目のスヌーズで観念して朝の準備をしながら、今日は外来の日だと認識。遠方と言われる通勤にも慣れて、予定より早く職場に着いた。
- 8:00 外来の朝の申し送りの司会は、PSWの担当だ。司会の段取りをメモした資料を確認。ああそうそう、新患と入退院予定の方を確認しておかないと…。各部署からの連絡事項を部署ごとに話す事になっている。今日は新患の方が気にされていたことを総合受付の人に申し送っておくことを言っておこう。これで安心。
- 8:20 朝のミーティングが終わり、外来待合前のカウンターに座って、外来患者さんが来られる準備は整っている。ああ、今日は意見箱の日だった。誰と回ろうかな。同じ部署の人と2名で回っていく事はルール違反だ。同じ人ばかり誘っては迷惑になるから誰か誘おう。あ、Aさんをお願いしよう。
- 8:30 入口の扉が開いて、受付が開始される。少しずつ患者さんが診察室までの「むつみの道」を通り抜けて、待合室に来られる。「おはようございます。」といつもの挨拶を交わす。
外来カウンターの朝は、少しスローペースで今日は電話が少ないかな…と、思っていたら、いきなり、警察署の方から電話連絡。入院も視野に入れた診察をお願いしたいとの事。急に慌ただしくなる。新患の予約の枠は常に当日は埋まっている。警察の方から、本人さまの情報を確認する。発熱もなく、症状もない。入館は大丈夫そうだ。次は、受入れが可能かどうか確認をしないとイケない。今日は入院担当と新患担当の先生が同じ日。話を確認しやすい。入院になるかどうかは診察の結果次第。しかし、入院になったときの事を考えて、在宅で過ごしている期間などを確認しておく。病棟にも空き状況と場合によっては入院になるかもと連絡。外来の看護師さんや受付にも連絡しておかないと。一通りの連絡を終えて受入となり、警察の方と共に時間外の入口の方から診察に入って頂く。診察を終えると今日は入院にはならなかった。結果をまた各部署に連絡だ。
そうこうしているうちに、数件電話が入っているが、そこは同部署のPSWが対応して下さって安心だ。外来カウンターに、患者さんが診察を終えて相談があるとの事で、相談の対応。部屋は空いてるか確認。全ての部屋が埋まっている。しかたがないので、総合受付横の相談室を借りて対応。患者さんが抱える思いは重く、話を伺っていると時間が過ぎるのが早い。伺った話から関係機関へ連絡して対応する事を約束し面談終了。

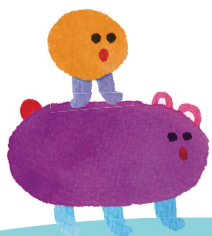
～次ページへ続く



相談室 精神保健福祉士のある1日

記事作成：岡 秀樹

- 11:30 あっという間に、お昼の時間、今日は昼番ではないため早めのお昼だ。お昼を終えて洗い物をしているときに総務から電話連絡。今は無理だな。折り返しする事を約束して電話を後にして頂く。昼番の時間が終わったら、意見箱だ。快く受けて下さったAさんと共に各病棟外来を回り、意見を各病棟のスタッフに預ける。外来はPSW担当だ。最近のご意見が数件入っている事が多い。なるほど、患者さんの意見が聞けて参考になる。でも、意見箱に入れてない方でもいろいろと思っておられる方もいるだろうな。自分で気付いた改善事項は改善しないといけないな。
- 12:30 外来に戻り、午後に新患の方の予約。このところ新患予約の方が多いなあ。かなり先まで予約が埋まっているけど、他の病院を希望する方が意外に少ないのに驚く。予約をしてカルテの作成依頼に総合受付に。午後は総合受付も少し落ち着いて新患カルテ作成依頼もお願いしやすい。聞き取った内容をインテーク依頼で心理室へメールで送り。物忘れ外来でレントゲン室にもお願いしておかないと。昼休みに電話があった方への折り返しの電話連絡もしないと。さあ、電話をしようかと思った矢先、また新患予約の電話。児童思春期の方の予約だ。予約を終えて、折り返しの電話予定の方によろやく電話する事が出来た。
- 外来では、相談室に毎日のように電話をして来て自分の苦しさを訴える方もおられる。こちらが何を出来るわけでもなく傾聴しているだけでも少しはましと言って下さる方がいる。置きどころの無い苦しさを何とか電話で話して毎日をつないでおられる。
- このような話を外来カウンターで伺っている最中にカウンター前でずっと待っている方が…。少しして、面談を終えて帰ってこられた他のPSWさんが対応してくれた。ほっとひと安心。
- 16:00 気がつくともう午後の相談室の申し送りの時間だ。外来のカウンターからは、離れて、シェアスペースにて、日誌に入力する項目を見ながら部署内で申し送り。いろいろな共有事項を室長がとりまとめ申し送り。各人がケースの対応の相談を行ったりする。申し送りの後は、週一回の掃除の時間があり、皆で掃除を終えて残りの業務をこなす。
- 16:30 今日一日の業務は終了。なんとか一日が終わり。。。明日は休みだ～ 少しゆっくりしよう。

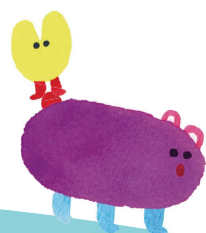


総務職員（医事受付）のある1日



記事作成：竹内 麻夏

- 7:40 出勤。正面入口の自動ドアの前には、早くも患者さんが開くのを待って列を作っている。出勤後は、待っていている患者さんが快適に入館・受付ができるよう、待合スペース等の清掃・消毒を丹念に行う。
- 8:00 朝の申し送りに出席。来院患者さんのことや入院手続きの進捗などを情報共有。診察開始時間まで受付準備を急ぐ。
- 8:30 自動ドアが開き、DC・診察の受付開始。「おはようございます！」DCに毎日いかれている方が元気に入ってくる。こちらも元気に挨拶を返す。
受付対応に追われる。外来数が多い日は受付前に列ができるときも。（今日も多いなあ。）
診察が終わり、お薬が出来上がってくる時間帯。外来がさらに忙しくなってくる。どんどん出てくる領収書の整理や会計にバタバタ。新患さんのカルテ登録、自立支援医療の返金、入院中の患者ご家族さん対応にもおわれる。こういう時、スピードを優先するとミスが発生する。患者さんの為にも、正確性を意識して集中することが重要。効率よく「丁寧に」を心掛ける。
気付いたときには「もうこんな時間」と感じるときも。
予約の患者さんが多い日は「薬はまだ？」の問い合わせが多くなり、待合のイスもいっぱいになる。院外処方を勧めて、少しでも待ち時間を短くしていければな、と課題も発見。
- 12:15 12時過ぎ（外来終了後）にこられて「診察してほしい」と言ってくる患者さん。（どうして時間内にきてくれなかったのか）と思うが、患者さんの立場にたって、急いで外来に確認。診察ができるよう調整する。
- 13:30 休憩後、午後の診察（診察開始：13:00より）。院外処方の方が多いので、薬局へのFAX希望の方は忘れないようにメモをとって対応。入院があればご家族への入院説明を実施。患者さんやご家族への説明は、一方通行にならないよう、寄り添った説明を心掛ける。
- 16:30 本日の売り上げを計算。1円でも合わなければ違算報告をしなければいけないので少し緊張する瞬間。「お金あいました」の報告にほっとする。
正面入口の自動ドアの電源を切り、業務終了。
今日もお疲れ様でした。



リハビリ室 作業療法士のある1日

記事作成：長谷川 優里

- 7:00 起床。急いで準備をする。朝は時間との戦いで、1日の中で一番素早く動くため、まず朝に疲労する。健康のことを考え、雨が降っていなければ歩いて出勤。私は健康な体！歩くことで痩せているぞ！脂肪を燃やせ！と思いながら病院へ向かう。
- 7:50 朝はできるだけ寝たい派だが、頑張って8時前に出勤。出勤したら事前に決めていた病棟の申し送りで報告しなければならない昨日の参加人数をすぐに確認し、急いで各病棟へ向かう。すだちやうずしお、あい病棟だと遠いため早歩きで向かい、ゼーゼー言っていることを隠しながら向かう。急いで移動したため、息が乱れているのを恥ずかしく思いながらみんなが集まるのを待つ。申し送りが始まる。各病棟によってOTが発言するタイミングが違うため、「OTさんお願いします」と言われるとドキッとしながら「今日の活動は創作クラブです。その後はエンジョイクラブを実施します。昨日の参加人数は○人で○%でした。」と参加率と、その日実施するプログラムを伝え、その後はラウンドを行う。申し送りでは聞き取れなかった人の状態を再確認できたり、状態が悪い人の確認ができたりする。今日はこの人の参加は難しいだろうな…などや、この人調子が悪いから気を付けよう…と頭に入れておく。ラウンド後はシェアスペースに帰ってきて、事務作業を行う。
- 8:30 活動準備を行うためにリハ室へ移動。準備物の中で一番重たいのは雑誌の籠。力を振り絞って準備する。いつか腰をやられるのではないかと不安に思いながら…。準備を終えると出発するまで心構えをする。
- 9:10 活動のため病棟へ移動する。病棟へ行くと患者さんから「ウォークマンあるの？」「リモコン貸して！」「ちょっと来て！」等の要望の嵐にあう。順番に対応し、落ち着いてから全ての病室を周り、活動参加への声掛けを行う。各部屋を行ったり来たりして運動になっている。頑張っても私の声掛けでは出てこない患者さんがいるため、看護師に協力してもらい、患者さんを連れてきてもらう。頑固な患者さんもすんなりと出てきて、患者さんと看護師の信頼関係はすごいなといつも感じる。私も良い関係性を築けるよう努力しよう！ 活動後は、体操や散歩、エンジョイクラブなどを行う。

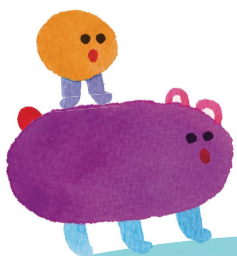


リハビリ室 作業療法士のある1日



記事作成：長谷川 優里

- 11:00 11時過ぎに午前中の活動が終わり、リハ室へ戻る。エンジョイクラブがあると11時20分くらいまで実施。ビーズやパズルの作成をし、交流しながら取り組む。キーホルダーの金具を付ける仕上げをスタッフがしており、一気に持ってこられると手先が忙しくなり、どんどん溜まっていく。「自分は器用だ」と言い聞かせながら金具をつける作業をひたすら行う。片づけや午後の活動の準備をしてからシェアスペースへ行き、事務作業を行う。
- 12:15 昼休憩に入る。毎日の給食が楽しみで、テンションが上がる。美味しいご飯を食べた後は歯磨きをして、同僚との会話やアプリのゲームをして過ごす。私はiPhone11を使っており、現在多発している不具合（圏外になる）によってゲームができないことが多くなっており、悲しい気持ちになる。
- 13:15 昼休憩後リハ室へ行き、準備物の確認をしてから病棟へ移動。午後の活動も午前同様に声掛け誘導し、各プログラムを行う。
- 14:30 午後の活動を終了し、患者さんの移乗や片づけを行いリハ室へ戻る。物品の片づけを行い、シェアスペースへ行く。
カルテを記載し、事務作業や活動物品の継ぎ足しなどを行う。
日によっては16時から部署内勉強会（月2回）、症例検討会（各月1回）、ミーティング（週1回）を実施する。
- 16:30 片づけをする。1日頑張ったと思えば疲れるが、自宅へ帰ってからも家事をしないといけないことに絶望する。いかに早く家事をするか考えながら雨が降っていなければ歩いて帰る。



やまもも病棟 病棟師長のある1日

記事作成：福原 澄子

- 7:20 「おはようございます」と患者さんと夜勤スタッフに朝のあいさつをすることで、私の一日が始まる。「変わらないですよ～」のスタッフからの声に一安心。
- 8:00 8時の病棟申し送り後、Drやコメディカルと共にラウンド。一人ひとりの患者さんの様子を自分の目で確かめ、その後カンファレンス。同時にその日のタイムテーブルをスタッフと共有し、私は診療連絡会へ。
- 9:00 午前のOT開始前にはお茶のサービス！！スタッフは笑顔で対応。OT参加のため患者さんに声かけ誘導を行う。ホールに出てきてくれたと思っても、スタッフの目を盗んでそっと帰宅されることも。でも女性ならではの「美容タイム」には、笑顔で参加！！美容液たっぷりのマスクを顔に乗せ、アロマの香りに包まれ、病棟は高級エステに早変わり！（あ、、、私もお願い）
- 11:30 OT終了後嚥下訓練開始！！舌の上下運動や「ぱ・ぱ・ぱ・・・パカラ・・・パンダの宝物！！」を何度も大声で繰り返す。この時も私が先頭に立って声を張り上げてる！
- 12:00 やっと昼食。介助が必要な患者さん、EDEP(摂食障害)ですぐ破棄しようとする患者さん、早食いの患者さん、ご飯時はまさに戦争！「誤嚥なんてさせてはならぬ」と意気込む。患者さんの昼食が無事終われば、一安心して私もやっとなにご飯にありつける。
- 13:30 昼休憩が終わると、お決まりのラジオ体操と病棟内ウォーキング。
その後 本年度の目標「むつみパーク散歩」の実施。独歩の方だけでなく、車いす、歩行器使用の方全員で行う。心待ちにしている患者さんもたくさんおられ、外に出た患者さんの表情は一瞬にして変化。自分たちの植えた花の水やり。花の香りに癒されて。散歩の後には体力UP運動。片足立ち、60秒。グーパー運動15回など簡単な運動でも確実に骨密度、握力UPしている。「寝たきりなんてごめん。骨折などさせてたまるか！」と私も気持ちが入る。帰棟後は待機していたキャビンアテンダントによりお茶サービス、その後やっとな看護記録の入力を行う。
- 16:30 気付けば、はやこんな時間。

また曜日によっては、入浴・オムツ交換・排尿・誘導・シーツ交換等多忙きわまりないが、患者さんのため、スタッフ一同で毎日フル回転で頑張っています。



外来クラークのある1日



記事作成：麻中 香織

8:00 外来申し送り参加。

担当日に当日のクラークの配置と、外来業務の連携に関係する内容、そして、気になる患者さん等のことについて共有する。外来の患者さんは、毎週来院の方もいれば、1ヶ月に1度来院の方もいる。自分が補助業務に入っていない患者さんも多いため、担当日の数日前から気になる方のカルテを確認し、状態について外来で周知しておきたいことなどをメモしていく。

8:10 外来スタッフ全員で診察準備。

申し送り後は、外来スタッフ全員で、感染対策のためチェアやデスク等の消毒をしていく。また、これから受診される患者さんの注射や処方の確認を行い、準備完了。

9:00 さあ外来診察開始！！（1診に外来クラーク、2診は病棟クラークが応援に入ってくれる）

患者さんの診察に、Drの後方で同席する。

患者さんの呼び込みは、基本的には呼出システムで行うが、時にはクラークが直接患者さんの呼び込みを行っている。診察にはいると、予約の入力、診察補助業務として処方・採血・検査等の指示、精神療法やDC・訪問看護等の指示などを行う。

診察の邪魔にならないように、患者さんが周りを気にせずDrと話していただけるように、『空気のような存在』に居られるように心掛けている。

最初は、診察で発する患者さんの生の声に私自身の精神状態が引っ張られそうに感じたこともあり、現場で直接患者さんと接することの大変さや難しさを強く感じた。

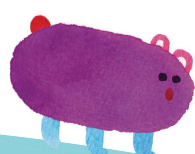
Drの患者さんへ話される言葉の優しさ・大きさ・強さ・適切な指示等々を聞くことで、私自身も落ち着き、癒されたり感銘を受けたりすることもある。冷静に業務を遂行しながら、聞き漏らしの無いように集中する。

外来Nsはもちろん、薬局、医事課等他部署との連携は不可欠であり、Drとのやり取りの仲介する場合もある。

12:30 来院が遅い患者さんもいるので、診察終了が遅くなることもある。

診察終了後、感染対策の消毒を行い、昼食となる。

～次ページへ続く





外来クラークのある1日

記事作成：麻中 香織

13:30 午後の診察&他業務

月曜と水曜は午後も診察に同席する。特に水曜は、2診に呼ばれたり3診に呼ばれたり、その都度あっちへこっちへと動くので、体力的にも大変な日だ。

その他の曜日は、入院等で必要があれば診察同席し補助業務を行う。

診察同席が必要ない時間は、各種書類（診断書や各種機関への意見書等）の下書き作成・毎日の外来・新患・時間外・救急警察関係等々の患者数の集計&データ作成業務、入退院データの確認業務などを行う。最近は患者数が増えているので集計人数や確認も多くなっているため、ミスがないようにここでも集中が必要だ。

その他、診察同席補助業務を行っていない患者さんの処方変更（院内・院外）などもDrの指示のもと行う。

毎月月末の木曜には、外来ミーティングが行われる。患者さんに快適に外来診察を受診頂けるように、他職種で課題や改善点を話し合う重要なミーティングだ。

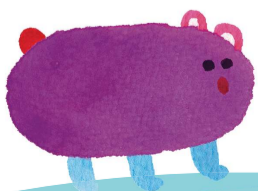
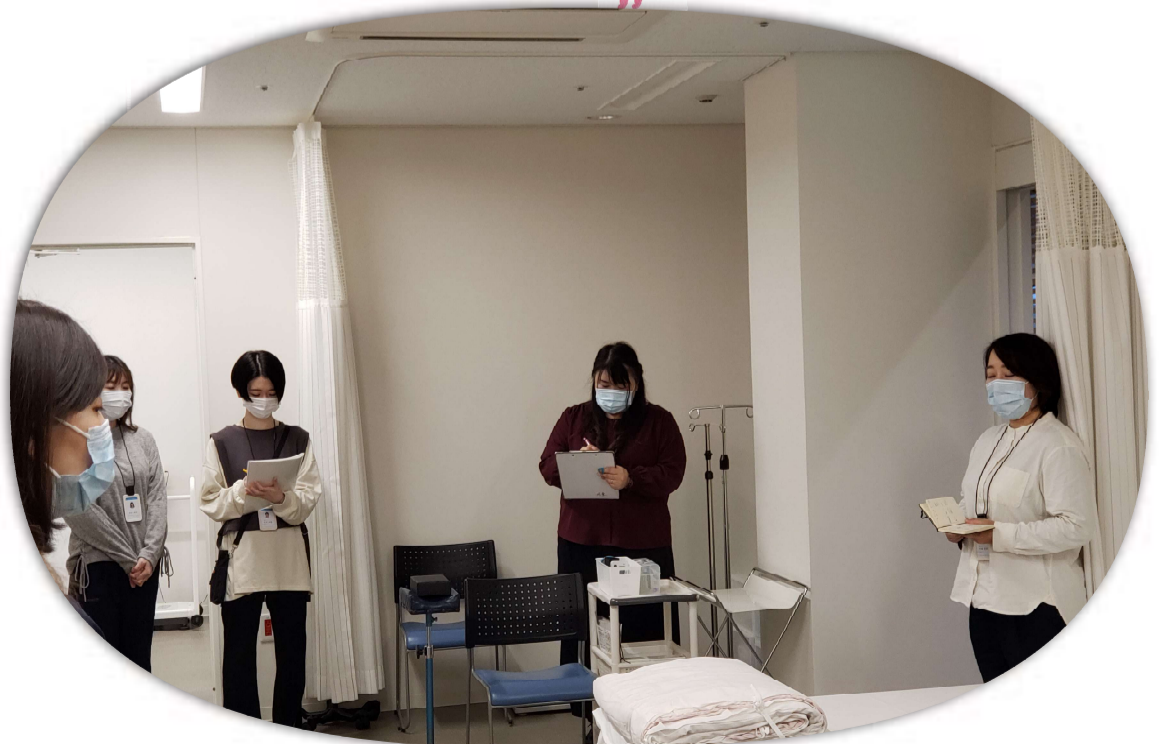
業務の幅は広く、重要業務から細かい雑務までたくさんある。常に外来の状態を把握してアンテナを張っておくことや、Drをはじめ他職種とのコミュニケーションや連携が必要とされるポジション。補助業務中にうまくいかない事もあり、落ち込むこともあるが、その都度Drの優しさに助けをいただく。これぞ精神療法です！有難い。

「クラークって、どんなことをしているの？」と業務内容が分かりにくいと思われるが、患者さんや他スタッフのため黒子的に色々動く役割だと思っている（^^）v。

今年度から、外来クラークへ専属配置になり4月に異動したばかりで未熟だが、新しく気づくこともあったり、難しいこともあるが、面白く、楽しい、非常にやりがいのある仕事だ。

16:30 あっ!という間に 今日無事終了。

お疲れ様でしたあ☆



心理室 臨床心理士のある1日



記事作成：竹岡 里紗

8:00 朝一は、それぞれ担当病棟の申し送りへ。

9:00 9時に外来が始まります。インテーク担当はインテークを最大3件取ります。患者さんの受診に対する不安や緊張を少しでも和らげられるように意識しながら、これまでの経過を確認します。大体20分間で取り終え、記事をまとめられるよう、頭と指は大忙し。

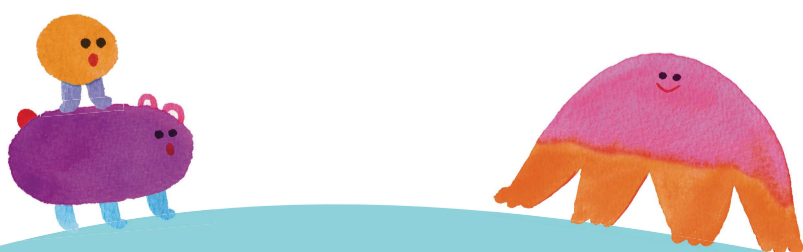
面接担当はカウンセリングを実施。お会いする前に、『前回は何を話したかな？どんな宿題を出したっけな？』とカルテの読み返しをして、中待合へお迎えに。『今日もよく来てくれました！』と労いの気持ちは忘れずに。基本30分、長い人でも45分。ニコニコ穏やかに話してくれる方、泣きながらしんどさを訴える方、怒りをそのままぶつけてくる方…さまざま。相談内容もすぐに解決できないことが多くて、「どうにもならないってしんどいよね」、「宙ぶらりんって辛いね」って、一緒に言います。どんな方が来ても、どんな時でも、CPは変わらずそこに居られるよう頑張りたいけど……、『ああ～…今日どうしよう』『もう帰りたい』ってくじけそうな時もあったり、腹が立ったり、悲しくなったり、疲れたり。けど待っていてくれる患者さんのため、自分を鼓舞することも…多々あります。。最大6人の方とお会いして、12時で午前の外来はおしまい。

13:00 お昼からは、外来業務も病棟業務もやります。

午後の外来は検査をすることも多いです。15分ほどで終わる場合もあれば、2時間程かかる場合もあって、面接→検査→面接…とサンドイッチになっていると、終わるかな…?って内心ドキドキ。病棟では、カンファに行ったり、面談に行ったり、検査に行ったり。検査は断られることも多いけど、めげずに時間を置いてアプローチします。病棟のカウンセリングや面談では、入院に至った経緯、退院に向けて必要なことは何か、退院後の生活をどう送っていくかを話し合うことが多いです。外来や病棟から戻ってシェアスペースでカルテ入力や検査所見作成などの事務作業を。

16:00 16時から心理室のミーティング。その日の入院やオーダーを確認し、担当を決めます。その日の業務で困ったことやみんなに聞きたいことを”やいやい”話し合っ、なるべくすぐに解決できるようにしています。

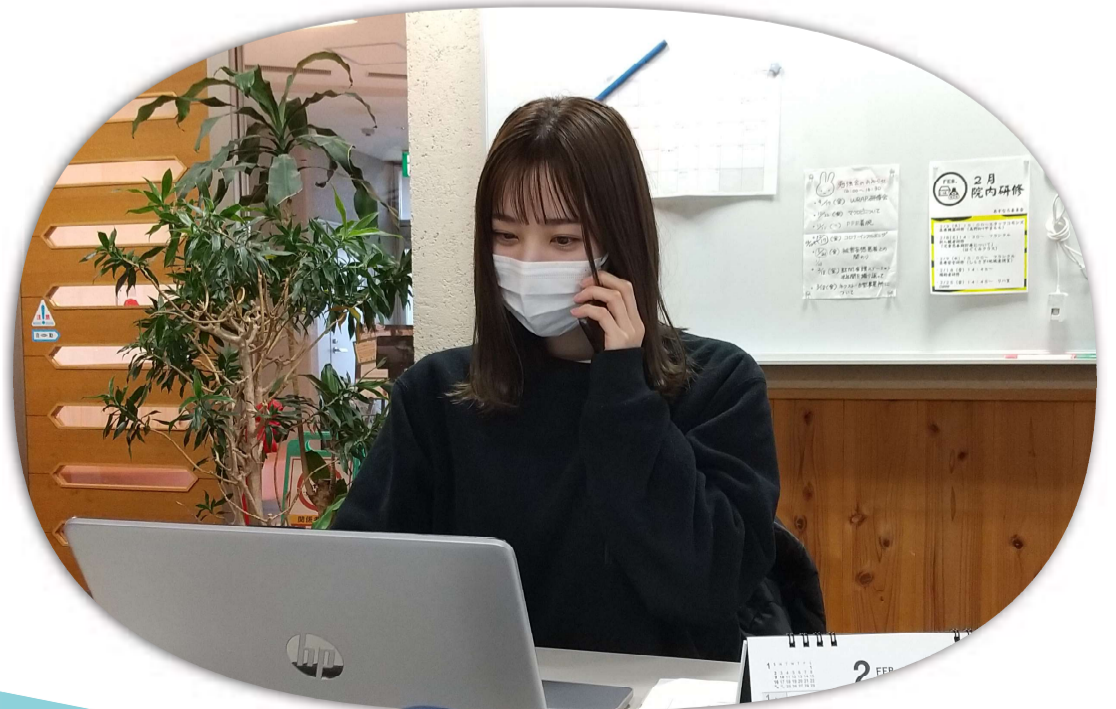
16:30 明日の休みを確認して、今日はおしまい！お疲れ様でした。



訪問看護ステーション 作業療法士のある1日

記事作成：小川 楓

- 8:00 法人からの申し送りや連絡事項をビオス全体で申し送り。
本日の訪問予定などを共有します。またお悩み相談の場にもなっています。
- 8:30 その後、本日訪問する方の情報収集・必要な物品の準備等を行います。利用者さん居宅では、限られた時間しかない為、この朝の準備・情報収集は非常に重要！朝から頭をフル回転で行っています。また、訪問前の事前連絡・時間調整連絡を行い、法人との診療連絡会にも参加します。
- 9:00 それぞれ車で訪問先に向かい、午前中に1～2件ほど訪問します。
チームカンファレンスでは、利用者さんの支援の方向性や訪問時の様子、リカバリープランなどについて話を行い、相談支援の方や保健所の方とも連携しながら対応します。
- 12:00 午前中の記録入力や午後訪問する方の情報収集などを行いながらの・・・お昼休憩。
- 13:00 午後からも午前と同様に1～2件訪問します。
1件あたりの訪問時間は支援内容によって異なりますが、平均1時間程度です。(30分～)
まずはバイタルチェックを行い、利用者さんの体調や希望、目的などに合わせて支援を行います。
支援内容は一人一人のリカバリーに向けて支援を行う為、生活支援、手続き支援、散歩や作業活動等の余暇支援、LAI、家族支援など利用者さんによって様々です。
在宅生活を送る利用者さんには、私達だけでなく他機関(ヘルパーや相談支援など)、家族が関わっている方もおられます。その為『つながりノート』を利用し、それぞれ訪問時に支援内容や様子・連絡事項などを記入し、共有します。
- 16:00 帰院後は、スタッフとの情報共有や関係機関への連絡・相談を行います。
訪問の現場で得た利用者さんの病状の変化などをチーム内で共有しています。
利用者さんが住み慣れた地域で自分らしい生活を実現・維持できるよう、チームワークで取り組んでいます。
- 16:30 今日もお疲れ様でした。

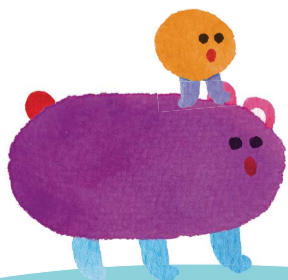




すだち病棟 病棟看護師のある1日

記事作成：黒川 みき

- 8:00 「おはようございます。申し送り始めま〜す。」元気いっぱいの看護師長の声ですだち病棟日勤の始まりです。深夜勤務スタッフの申し送り後は、医師・コメディカルをはじめスタッフ全員でのラウンド開始。「おはようございます。昨日夢を見て眠れなかったんです。」と医師に緊張した表情で話す患者さん。「みて、みて、出来たよ。」と自己洗濯や薬管理のチェック表を嬉しそうに心理士や薬剤師に伝える患者さん等々、ラウンドで患者さんもスタッフもスイッチオンです。ラウンド後はミニカンファレンスを実施します。
- 8:30 配薬・入浴・シーツ交換・環境整備・主持看の個々の対応・医師の診察・退院支援委員会お昼前には、一斉放送でウォークラリー開始！！皆さん12個のスタンプを集め、景品（うまい棒ゲット）を目標に頑張っています。「今日はむつみパーク5周しま〜す。無理はせず、ゆっくり・ゆっくりね。」「すだち農園のキュウリ・大葉・ピーマンも大きいなりょうな〜あっ」「おいしそう・トマトよう熟れとるな。」雨の日は、病棟内でCDかけて歩きます。・・・！今日は名曲「YOUNGマン」にあわせて私も歩く。コロナ渦で運動不足の私も便乗してダイエット開始。一石二鳥とはこの事ですな！
- 12:00 食・配膳・おいしいランチタイムの後は皆さまウトウトお昼寝タイム。私たちスタッフもランチタイムです。
- 13:15 お昼からは、ラジオ体操・転倒予防体操を行います。
「はい、かかとあげて〜。はい、つま先あげて・・・」みなさま歌を口ずさみ楽しんでいきます。365日の紙ひこうきの歌がいつの間にか患者さんやスタッフの人生応援歌になっていると感じるのは私だけでしょうか。モチベーションUP！
- 16:15 点呼・準夜勤に申し送り 「みなさん、今日も1日お疲れ様です。何かありますか・・・」「今日はOさんがレク参加してくれました。」「Mさんウィスパーの体験いかれてます。一つずつできることが増えてるみたいです。退院も間近ですね。」
すだち病棟は患者様が、安心して社会復帰できる事を目標とする看護に力を入れています。
- 16:30 今日も無事1日終わりました。おつかれさまでした。



しらさぎ病棟 病棟看護師のある1日

記事作成：明石 和之

- 7:40 出勤後は、カルテや申し送り簿を確認。担当患者さん、観察者さん、担当ウイング患者さんの情報収集を行い、本日の入院・退院、自分の担当業務を確認する。“今日は薬係か～”今日も責任重大。あと、自分の担当ウイングの退院日でもあり、本日のタイムスケジュールを組む。
- 8:00 申し送りを聞き、医師と共に巡回。
患者さんに挨拶し、お話を聞きながら、病室の様子を確認する。
- 9:00 検温と病棟内の清掃。患者さんの部屋にあるゴミ箱から大量の菓子袋（空）を発見することも・・・どうしてこんなに。。。「ちょっとお話よろしいですか。」とお声掛け。。
- 9:30 その後、退院する患者さんの荷物を確認。忘れ物があると、こちらも困るが、患者さんが何よりも困るので慎重に行う。退院対応時は、患者さんが笑顔で「ありがとうございました。」と伝えてくれる。僕も嬉しく、この時が一番やりがいを感じる。”よかった。。。♪”
- 10:30 昼食分の薬だしを行い。薬が無くなりそうな時は、処方箋のチェックも行う。
- 11:40 患者さんの昼食が始まり、様子を観察。
昼食後、「ご飯食べてすぐに飲めるか！」と薬を飲むことを苦手になっている患者さんもいるが、話をしっかり聞き、時間をあけると飲んで頂けたので一安心。
- 12:30 お昼休憩。今日のメニューは患者の食事観察で予習済み。食堂へ向かう。
食後はコモンズへ向かい、同僚と談笑し、楽しい時間を過ごす。
- 13:30 午後からは、まず お風呂介助。拒否的な方や全部スタッフにしてもらいたい方と様々。適宜、説得、自立をなるべく促して実施する。
高齢の方は脱水の危険性も高いので、ホールで水分摂取を勧める。
- 15:00 明日以降の退院の準備、病室調整、カルテ入力、夕方の検温等を行う。
準夜帯勤務者が出勤してくると、申し送りを行い本日の業務は終了。
- 16:40 終業。愛車に乗り込む。



 **MUTSUMI GROUP**

 **MUTSUMI HOSPITAL**

 **HOT LIVING** デイケア
ほっとリビング

 **WHISPER**
自立訓練事業所ウイスパー

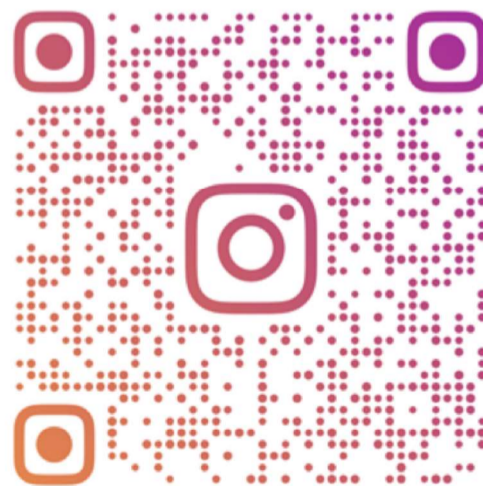
 **NEXT** B型作業所
ネクスト

Restaurant  **BIOS**

ホームページ



Instagram



MUTSUMIHOSPITAL



MITSUMI GROUP